

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設名	高松市屋島競技場(屋島レクザムフィールド)		
指定管理者	四電エグループ	施設所管課等	スポーツ振興課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市屋島中町374-1		
施設の概要	(施設)SRC造4F建 延16,027㎡ (職員の状況)四電工社員1名、契約社員7名、派遣社員2名 太平ビルサー ビス2名(うち1名非常勤)長谷川体育施設1名(非常勤) (開館時間)9:00～21:00 年始年末(6日)休館	業務の概要	施設の維持管理・運営業務 1)受付業務 7)プログラムの運営 2)競技備品の貸出 8)使用許可 3)会議室の貸出 9)その他 4)安全管理 ・自主事業 5)衛生管理 ・地域貢献 6)応急処置 ・利用促進

	項目名	令和4年度	令和3年度	項目名	令和4年度	令和3年度
利用状況等	利用者数	132,435 人	99,225 人	施設稼働率	15%(会議室37%)	11%(会議室34%)
	(うち専用利用者数)	69,623 人	42,412 人	(うち主競技場稼働率)	19 %	26 %
	(うち個人利用者数)	44,264 人	40,513 人	アンケート回収数	598 枚	265 枚
収支状況等	指定管理料	59,470 千円	65,539 千円	支出実績	72,695 千円	80,992 千円
	収入実績	74,131 千円	79,312 千円	(うち人件費)	40,627 千円	43,108 千円
	(うち貸館収入)	14,355 千円	11,246 千円		千円	千円

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性 ②平等な利用の確保	より適切で平等性のある施設管理運営を行うため、規程類の見直しに取組んでおり次期改正予定をしている。施設は競技場利用者の他、ウォーキング等の利用者にも開放しており、寄せられる要望は多岐にわたるが、平等利用を原則にお客様目線での対応と行動を職員に徹底し、公平なサービスが提供できている。	B
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策 ②広報・PR対策 ③企画事業・自主事業 ④市・関係団体・地域等との連携 ⑤サービス向上の取組 ⑥相談・苦情への対応	スマホに対応したホームページに刷新し、利用者が閲覧しやすく、かつタイムリーな情報を発信することで施設のPR拡大を図った。また、全国各地の陸上大会に参加したおりに、室内競技場を有する当施設の利点をアピールするなどの広報・営業活動により、着実に合宿利用者を増やしていることと、自主事業、プログラム事業の内容等を見直し、改善しながら運営を行うなどして、個人利用者数を増加させ、利用者数は年度目標を大きく上回ることができた。 周辺商業・宿泊施設等との連携や競技場の環境保全に努めた結果、利用者アンケートでは、利便性や美観、清潔度に高評価を受けている。また、関係団体との連携を深め、SSCやTASS事業に陸上指導者を派遣するなど積極的に協力をを行い、地域活性化とスポーツ振興にも寄与した。	A
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等 ②教育・研修 ③就業規則等の遵守 ④施設運営の健全性の確保 ⑤損害保険等 ⑥収支計画と執行管理	構成企業の専門性および実績を活かした業務体制を保持し、運営業務・維持管理業務に精通した職員を配置しており、職場では待遇、法令順守等の社内教育やOJTを通じて、職員のスキルアップと意識高揚を図っている。また、契約社員を1名増員し、無理のない勤務ローテーションを作り、職員の健康と業務の安定性を確保した。 収支計画に基づき、適正・的確な原価管理を行い、担当部署へ月毎・期毎の予算進捗状況報告や社内監査等により、健全な施設運営を行っている。施設賠償責任保険、サイバーリスク保険は毎年内容を見直し加入し、利用者をはじめ被害者に対する適切な補償ができるよう備えている。	A
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費 ②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点 ③経営の効率化 ④合理的な会計制度	自主事業等による利用者数増加に伴い、利用料収入も計画以上確保できた。経費縮減策として、職員増員による職員負担の均一化と、業務効率化による時間外労働の削減、施設維持管理業務をグループ直営作業で行う他、物品修理や取替えをできる限り職員で実施するなど内製化を図り、修繕費等の削減に努めた。	B

総合評価コメント	総合評価
早朝から外周全面扉の開放を継続的に実施している点や、イベント等に合わせ利用時間の前倒し・延長等に積極的に対応している点など、地元住民や利用者のニーズに柔軟に対応している点は、高く評価できる。施設に必要な有資格の取得を始め、接遇訓練やコンプライアンス研修など幅広い研修を実施しており、職員の人材育成にも積極的に取り組んでいる。 ホームページを刷新し、利用者が閲覧しやすく、かつ、タイムリーな情報を発信するなど施設のPRに取り組むとともに、全国各地の陸上大会に赴き、室内競技場を有する施設のPR活動を行うことによって、合宿を誘致している。第1期の指定管理に引き続き、地元住民が気楽に参加できる会議室を利用した幼児運動教室・高齢者運動教室・カルチャー教室などの幅広い開講を行い、利用促進にも積極的に取り組んでおり、結果として、個人利用者数が増加し、利用者数は年度目標を大きく上回っている点について、高く評価できる。 施設の管理運営体制については、適正な人員配置、接遇、法令順守等の社内教育等を行い、適切に施設の管理体制維持に努めている。グループの構成員それぞれの強みを生かし、軽微な修繕、改修を直営で行うなど、経費削減に取り組むとともに、自主事業等の開催により収益を確保し、収支バランスを保っている。	B